

## 令和3年度 白川小学校 経営の概要について

校長 小林 ゆかり

### <はじめに>

本校は、亀山市の北西部に位置し、校歌に歌われる明星ヶ岳を望みながら、椋川、前田川の流れるのどかな田園地帯を抱え、古くからの豊かな自然に囲まれた場所にあります。校区は白木地区と小川地区からなっており、両地区を合わせて「白川」と称したことが校名の由来となり、今年度で学校創立122年を迎えました。また、白川地区まちづくり協議会が中心となって自治的活動に取り組んでおり、地域と一体となって行われる運動会や地域体験学習など、地域が学校を支えていこうというあたたかい雰囲気つつまれています。近年のコロナ禍で、地域とともに行う教育活動が自粛となっていますが、白川小学校を核にしたコミュニティのつながりが強いことは、本校の特徴と言えます。

本校の校舎は、昭和29年に建てられた木造校舎で、平成21年8月に国の登録有形文化財に指定されました。約70年前に建てられた小学校が今も使用されているのは大変珍しく、現在もなお創建当時の面影を残していることから、子どもたちをはじめ保護者、地域の方々にも愛されています。

平成15年度より、市内で唯一小規模特認校制度が実施され、校区外から通う児童を受け入れて19年目となりました。白川の自然豊かな学習環境や、小規模ならではの多岐にわたる体験活動、きめ細やかな学習への取り組みなどに期待を寄せて、本制度を活用して入学及び転入するご家庭があります。今年度は全校児童43名ですが、そのうち13名の児童がこの制度により通学しています。

このような環境の中で、子どもたちが自然の恵みを体いっぱいを受け、自分たちの故郷である白川地区のよさを改めて知るとともに、多くの先人が創り上げてきた白川の歴史や伝統、文化を引き継いでほしいと考えています。そのために、心豊かな教育文化の継承と確かな教育活動の創造を学校経営の基本に据え、この地域に生まれ育っている自信と誇りを育みつつ、未来をたくましくしなやかに生きる力を備え、自分を発揮し求め続ける児童の育成に取り組んでいきたいと考えます。

### <学校経営のねらい>

- (1) 子どもの生活全体にゆとりを持たせ、子どもが主体的に活動できる時間を確保する。  
家庭・地域・学校が相互に連携しながら、豊富な自然体験、社会体験を通して、自ら学び考える力や心豊かな人間性を育む。【徳育】
- (2) 一人ひとりの子どもに目を向け、基礎・基本の定着と個に応じたきめ細かな指導の充実を図り、自発的に学習に取り組む子どもを育む。【知育】
- (3) 豊かな自然に囲まれながら、地域を愛する心身共に健康な子どもを育む。【体育】
- (4) 豊かな体験活動を通して、まとめ、発表し、表現する力を育む。



田植え体験学習



さつまいもの収穫



炭焼き体験